



【「地区中央病院」色丹分院】

(穴澗)

2014年12月完成。診療科目8科。ベッド数25床、外来50名まで対応可能。医師8名、看護師16名。文化会館向かいの小高い丘の上にある。



【ダニール・モスコフスキー教会】

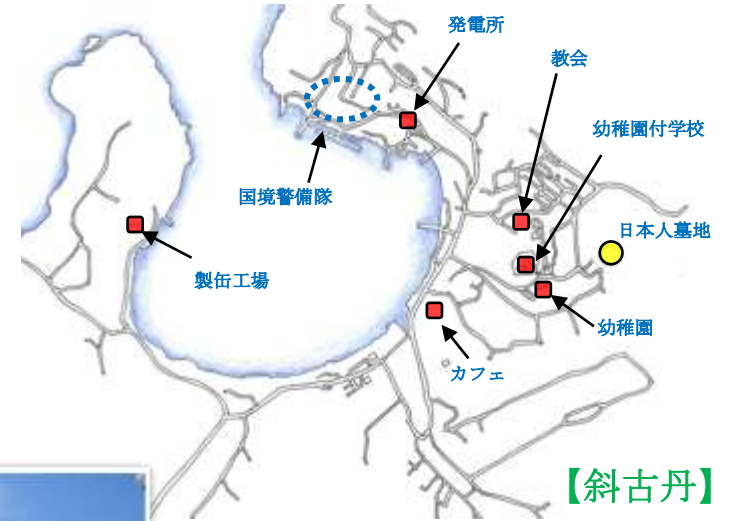
(斜古丹)

斜古丹湾を一望する高台にある。



【スポーツ施設 色丹アリーナ】

2016年12月斜古丹にオープン。球技コートや道場がある



【斜古丹】

斜古丹（しゃこたん）

約1,200人の住民の他、国境警備隊員とその家族が暮らす。

漁業コンビナート「オストロブノイ」の基地があり、深水港のため大型船が停泊する。



【消防署】(穴澗)

2013年6月供用開始。斜古丹地区も管轄する。

【穴澗中等総合教育学校】(穴澗)

11年制小中高一貫校。7歳で入学、初等科4年、中等科5年、高等科2年を修了すると大学受験資格が与えられる。



【斜古丹学校(右)・オストロボーク幼稚園(左)】

(斜古丹)

東方沖地震で学校校舎が全壊後、2018年に完成。幼稚園では110名、11年制の学校では生徒196名が学ぶ。

【穴澗文化会館】(穴澗)

穴澗の中心部にあり、表敬訪問などはこちらで行われる。土曜日の夜はディスコとして利用される。



【ディーゼル発電施設】(穴澗)

1999年に日本政府の人道支援により供与した発電所。ディーゼル発電機800kW×3基。常時出力1600kW



【穴澗】

穴澗（あなま）

人口約1,000人。交流船「えとびりか」号が北方四島で唯一直接接岸できる栈橋がある。交流事業でよく使われる学校やレストランもこの村にある。

～島内インフラについて～

空港・色丹島に空港はないが、穴澗郊外にヘリポートがある。2016年12月から週2回、国後と色丹の間を結ぶ。所要時間40分。

港・・・穴澗港と斜古丹港がある。サハリン・択捉・色丹・国後を巡回する貨客船「イーゴリ・ファルフトジーノフ」号が就航し、斜古丹港に寄港する。択捉島から11時間、国後島から4時間、サハリンからは18時間かかる。また国後との間には定期的にはしけ船が往来し、貨客を運んでいる。

道路・ほとんど舗装されていなかったが、2019年市街地及び穴澗-斜古丹間道路のアスファルト舗装が始まったと伝えられる。島で走っている車の大半は日本製の中古車。

住宅・木造の集合住宅がほとんど。1994年の北海道東方沖地震による倒壊住宅の放置等も多かったが、近年新規住宅の建設が進む。